

| | | |
|--------------------|------|-----------------------|
| 近畿地方整備局 滋賀国道事務所 | 配布日時 | 平成22年 3月 9日 14時00分 |
| 資料配付 | | |

| | |
|----|--|
| 件名 | <p>道の駅『^{しおつかいどう}塩津海道^{さと}あぢかまの里』が完成 3月13日(土)からご利用頂けます。 ～滋賀県で15番目の道の駅がオープンします～</p> |
|----|--|

| | |
|----|--|
| 概要 | <p>このたび、滋賀県で15番目の道の駅『塩津海道あぢかまの里』が完成し、平成22年3月13日(土)よりご利用頂けることとなりますので、お知らせいたします。</p> <p>国道8号の福井県との県境付近(長浜市域)は山間部で、カーブが連続しており、疲労運転等が起因すると想定される事故が発生しています。</p> <p>また、冬期に積雪量が多くチェーン装着のために路側駐車をすする車両の影響により渋滞が発生しています。</p> <p>このため、滋賀国道事務所は、長浜市が長浜市西浅井町において運営してきた「奥びわ湖水の駅」等の地域振興施設に隣接して、平成20年度より道路情報提供やチェーン脱着等の機能をもった24時間利用可能な休憩施設(駐車場・トイレ)の整備を行ってきました。</p> |
|----|--|

| | |
|------|-------|
| 取り扱い | _____ |
|------|-------|

| | |
|------|---|
| 同時配布 | <p>近畿建設記者クラブ 大手前記者クラブ 滋賀県政クラブ</p> |
|------|---|

| | |
|------|--|
| 問合せ先 | <p>国土交通省 近畿地方整備局 滋賀国道事務所 副所長 西本信弘 交通対策課長 澤崎 広一郎 TEL 077-523-1741(代表) 内線 205、471 長浜市役所 西浅井支所 地域振興課 主幹 大田久衛 TEL 0749-89-1121(代表)</p> |
|------|--|

道の駅『^{しおつかいどう}塩津海道^{さと}あぢかまの里』が完成！

3月13日から利用可能となります

～滋賀県で15番目の道の駅がオープンします～

国道8号の福井県との県境付近（長浜市域）は山間部で、カーブが連続しており、疲労運転等が起因すると想定される事故が発生しています。

また、冬期に積雪量が多くチェーン装着のために路側駐車をする車両の影響により渋滞が発生しています。



積雪時の国道8号渋滞状況







このため、滋賀国道事務所は、長浜市が長浜市西浅井町において運営してきた「奥びわ湖水の駅」等の地域振興施設に隣接して、平成20年度より道路情報提供やチェーン脱着等の機能をもった24時間利用可能な休憩施設（駐車場・トイレ）の整備を行ってきました。

このたび、これらの施設は、滋賀県で15番目（近畿地方整備局管内で104番目）の道の駅『塩津海道あぢかまの里』として完成し、平成22年3月13日（土）よりご利用頂けることとなりますので、お知らせいたします。

位置図



道の駅『塩津海道あぢかまの里』施設概要

| | |
|----------|---|
| 路線名 | 一般国道8号 |
| 交通量 | 平日9,810台／日、休日約11,136台／日 |
| 地先名 | しがけんながはましにしあざいちょうしおつはま ばんち 滋賀県長浜市西浅井町塩津浜1765番地 |
| 単独・一体型の別 | 一体型 |
| 施設面積 | 11,435m ² （国：5,830m ² 、長浜市5,605m ² ） |
| 施設内訳 | <p> 駐車場88台</p> <p> トイレ23器（身体障害者用有り）</p> <p> 公衆電話</p> <p> 道路情報提供施設、休憩施設</p> <p> 奥びわ湖水の駅（レストラン・物産販売所）</p> <p> 水の駅交流館（観光情報提供・会議室）</p> <p>※駐車場、公衆電話、トイレ（14器）は24時間利用可能</p> |
| 営業時間 | 9:00～17:00（3月～11月）、土日祝日は18:00まで 9:00～16:00（12月～2月）、土日祝日は17:00まで |
| 休館日 | 毎週火曜日（祝祭日の場合は営業）及び年末年始 |
| 道の駅登録日 | 平成21年7月31日 |

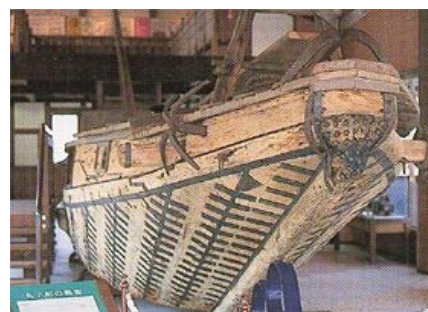
駅名の由来

『あぢかま』は塩津を指す枕言葉で、琵琶湖の水辺で越冬する鴨から由来しており、この地を代表する言葉として駅名に用いています。

道の駅の特徴

琵琶湖の最北、旧西浅井町域は古くより北陸と京都・大阪をつなぐ重要な交通路として人々の暮らしと関わってきました。大浦・菅浦・塩津浜の三つの港を有し、陸上と湖上輸送の中継地であったという地域の特色を生かし、当駅では滋賀県北部の農産物や琵琶湖の水産物を新鮮なうちに直売する店舗と、焼きサバずしやふなずし茶漬けなどの郷土料理を味わうことのできる食事処を併設しています。

道の駅周辺には、『奥琵琶湖パークウェイ』等があり、道路利用者の休憩施設としてはもちろん、湖北地方の地域振興拠点として、多くの方々に利用していただけるものと期待しています。



湖上水運の主役・丸子船

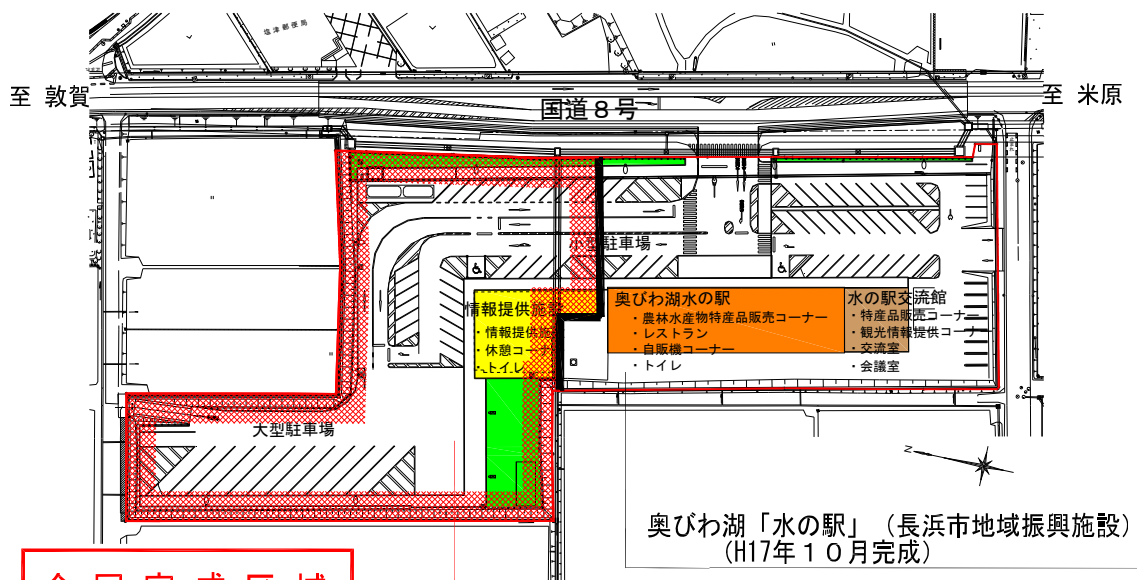


奥琵琶湖パークウェイから見た琵琶湖

全景写真



配置図



今回完成区域

道路管理者施設 (駐車場・トイレ・休憩コーナー)